

Ⅲ. 十勝・帯広市の未来予想図編

私たちが普段何気なく住む十勝には、たくさんの恵まれた自然や農産物、観光資源がある。でも最近ちょっと十勝に元気がないんじゃない？ そんな十勝に送る私たちからのラブレター♥

十勝1市で道内第2位の都市を目指せ！

十勝管内の人口の合計は約35万で、旭川市と同規模。北海道第2位の都市になれば更なる発展の可能性がある。

- 1位 札幌市 1,898(千人) 十勝・帯広市は道内の中央に
- 2位 旭川市 354(千人) 位置し、札幌市、旭川市、釧路市などの道内主要都市への
- 3位 (仮)新十勝市353(千人) アクセスが良い。十勝管内1
- 4位 函館市 284(千人) 9市町村を大合併し、北海道



第2位の都市となり帯広空港の発着数も増加。大学や専門学校を開校し、札幌への若者の流出を阻止！さらには屋内スピードスケート場をメイン会場に十勝に冬季オリンピックを誘致し、スケート種目では地元選手が金メダル獲得なんてことも？

国道沿いに寄り道スポットを整備しよう。

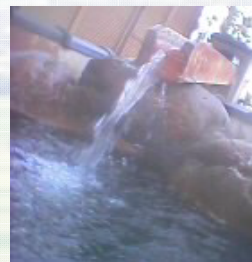
十勝・帯広市は北海道の東西ルートの中継都市。長距離運転者、観光客のオアシスを目指そう！



十勝帯広に走る国道38号線は北海道の大流通経路。国道沿いに道の駅を整備して、十勝の特産品やスイーツを食べられるレストランやお土産店を併設すれば休憩のために多くのお客さんが立ち寄ってくれる。また、駅内部には十勝管内のイベント情報、十勝おすすめ観光ルート、各種割引チケットを用意し「また来なくなる十勝」を演出しよう！

北海道遺産モール温泉で農業体験希望者を呼び込め！

十勝川温泉は日本で唯一のモール温泉。十勝川温泉とタイアップし、全国から農業体験ツアーを企画。



十勝川温泉に宿泊し、周辺の農家で収穫作業や搾乳体験をしてみよう。ホテルの夕食には自分で収穫した野菜や、自分で作った乳製品が登場。農作業で疲れた体をモール温泉で癒し、その夕食を食べれば最高の十勝での思い出になること間違いなし。そして温泉宿泊、農業体験のリピーターが増え、十勝の観光収入の増加や、十勝の農産物のPRにつながる。

十勝食材のフードパークを建設し全国にアピール！

十勝の味力(みりょく)は数知れず。十勝ブランド食材をふんだんに押し出して観光客をお出迎え！



十勝には「豚丼」の他に、世界に誇る十勝ブランドの乳製品や、濃厚な十勝の牛乳から作られた良質なバターをふんだんに使った極上スイーツなど食通をうならせる食がいっぱい！これらを一度に堪能できる施設を、ばんえい競馬場の敷地内に建設すれば相乗効果で観光客が増加！施設内には「豚丼村」、「スイーツ村」を開設し十勝管内の人気店数店舗を入れて、月替わりで違う店に入れ替える。気に行った店があれば、本店まで足を運ぶ客が増加し、マイナーだったお店もたちまち行列のできる人気店になる！

農業王国十勝 更なる発展

十勝の食料自給率はカロリーベースで何と1,000%以上！これは北海道民560万人に必要なカロリーの7割分に相当します。まさに北海道の食料基地・十勝。そんな十勝の農家直営のファームレストランやファームイン、チーズ販売所、アイス専門店を多数オープンさせれば雇用促進、観光収入増など十勝に大きな経済効果をもたらす！